

**「嘉麻市子育てに関するアンケート調査」
調査結果 概要版**

平成31年3月

1. 調査概要

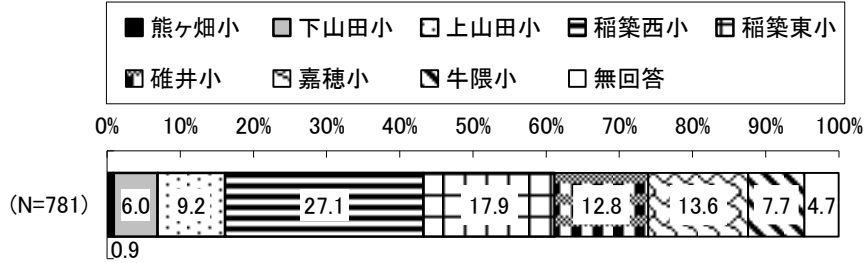
調査の目的	➢ 子育てに関する実態や意識、ニーズなどを把握し、子ども・子育て支援法に基づく「子ども・子育て支援事業計画」の第2期計画見直しのための基礎資料とする。
調査対象	➢ 就学前児童(0～5歳)の保護者 1,162名 ➢ 小学生児童(1～6年生)の保護者 1,349名
調査手法	➢ 保育所・学校等を通じた配布・回収 ➢ 在宅保育、市外に通学児童については郵送調査
調査期間	➢ 平成31年1月16日～1月29日 ※ 2月18日までに到着した調査票まで集計に含む
回収数	➢ 就学前児童 781サンプル(回収率67.2%) ➢ 小学生児童 1,050サンプル(回収率77.8%)



2. 回答者の属性

図1 居住地

就学前



小学生

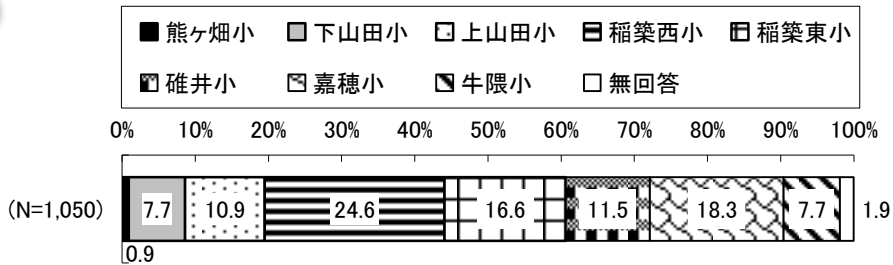
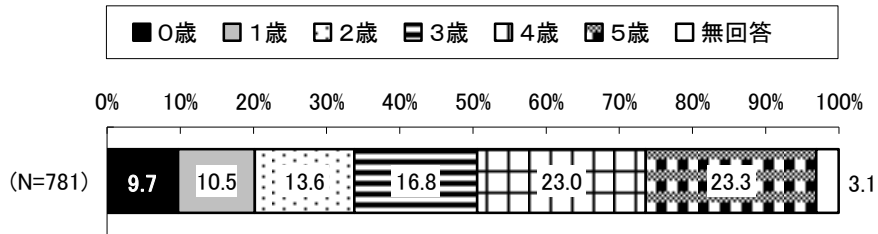


図2 子どもの年齢

就学前



小学生

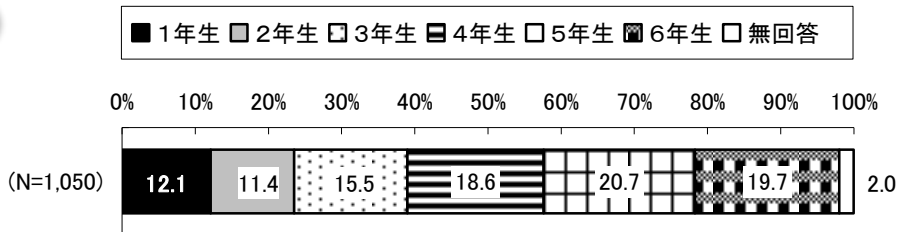
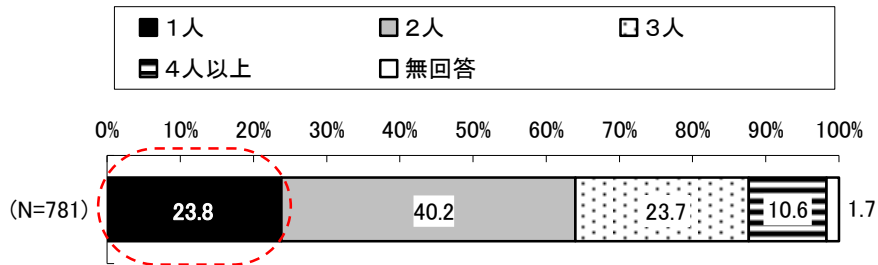


図3 子どもの人数

就学前



小学生

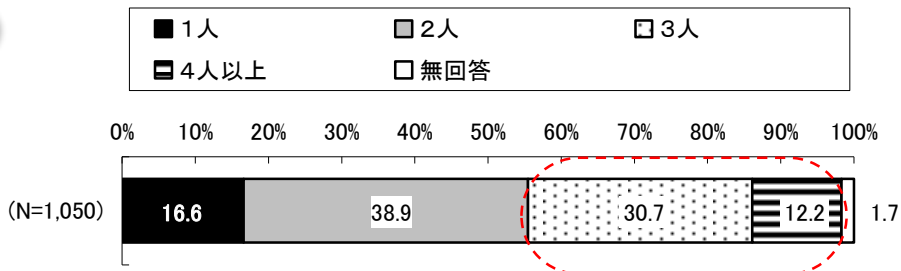
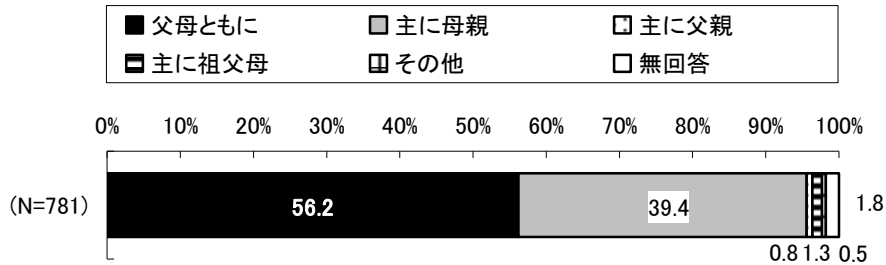
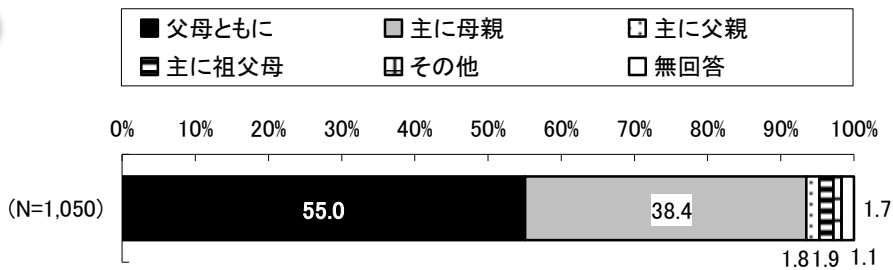


図4 主な保育者

就学前



小学生

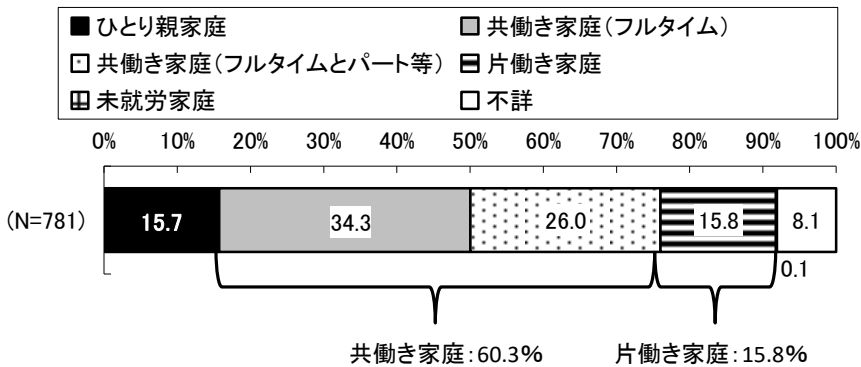


3. 保護者の就労状況

- ◆保護者の就労状況は、就学前・小学生ともに「共働き家庭」が多く、「片働き家庭」は就学前で15%、小学生で10%となっている。
- ◆また、「ひとり親家庭」は就学前で15%、小学生で22%となっており、特に小学生の保護者でひとり親家庭が2割を占める。
- ◆子どもの年齢別にみると、就学前の「共働き家庭」の割合は子どもの年齢が上がるにつれ高くなり、4歳を境に6割を超える。なお、小学生の学年による大きな特徴はみられない。（5年生については「ひとり親家庭」（27.6%）が多いため、共働き家庭の割合が低い）

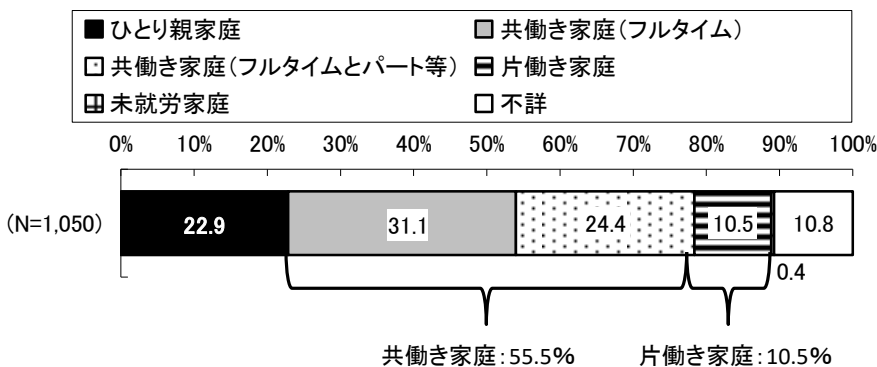
図5 保護者の就労状況

就学前



	調査数 (N)	共働き家庭 計	片働き家庭 計
全体	781	60.3	15.8
0歳	76	52.6	26.3
1歳	82	57.3	20.7
2歳	106	58.5	17.0
3歳	131	59.6	19.1
4歳	180	64.4	11.7
5歳	182	65.9	12.1
無回答	24	33.3	-

小学生



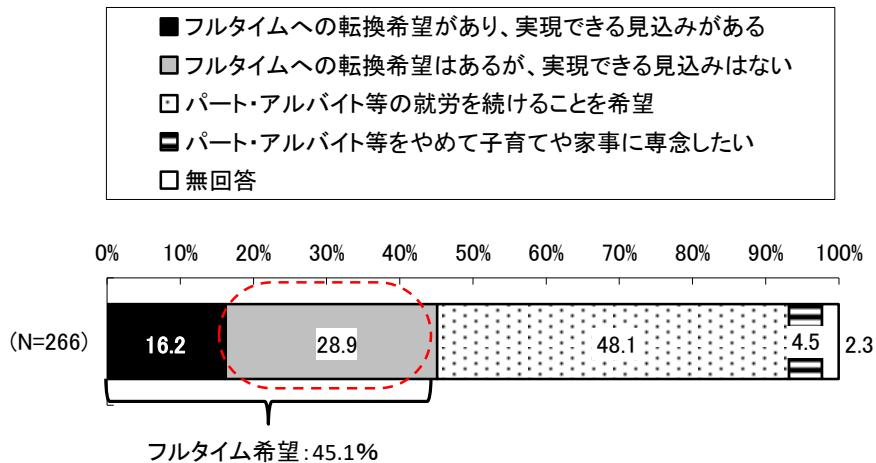
	調査数 (N)	共働き家庭 計	片働き家庭 計
全体	1050	55.5	10.5
1年生	127	55.9	11.0
2年生	120	59.1	11.7
3年生	163	58.2	8.0
4年生	195	61.0	13.3
5年生	217	50.7	9.2
6年生	207	56.5	10.6
無回答	21	-	4.8

◆パート・アルバイト勤務のうち、フルタイム勤務への転換を希望している母親は特に就学前で45%と多く、パート・アルバイトのまま継続希望が5割となっている。

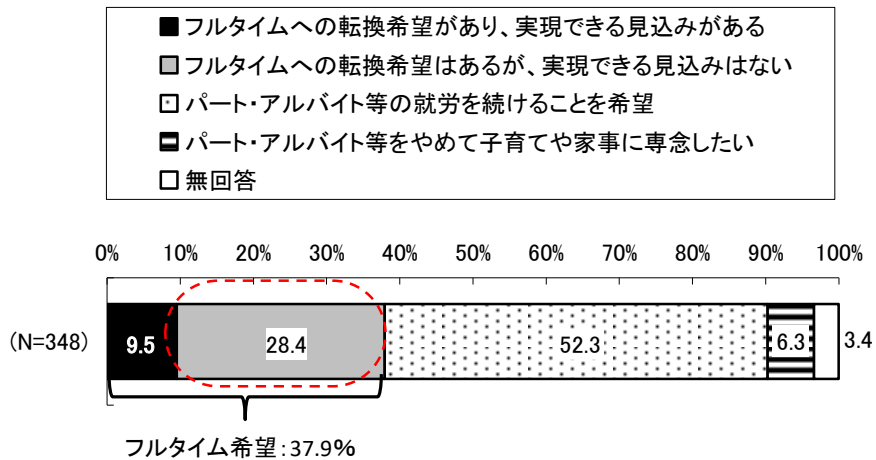
◆パート・アルバイトなど、現状の働き方を維持したい人が多いが、フルタイム勤務を希望しながらも実現できる見込みがない人も3割にのぼる。

図6 母親のフルタイムへの転換希望

就学前



小学生



4. 定期的な教育・保育事業の利用状況

- ◆平日、幼稚園や保育所などの教育・保育事業を利用している人が9割、利用していない人が1割と、利用している人が大半。
- ◆利用している事業の内訳をみると、認可保育所が7割強で最も多く、幼稚園が2割で続く。
- ◆今後の利用希望として、幼稚園（預かり保育）や認定こども園へのニーズが高くなっている。また、現在実施していないファミリー・サポート・センターのニーズも1割挙がっている。

就学前

図7 利用状況

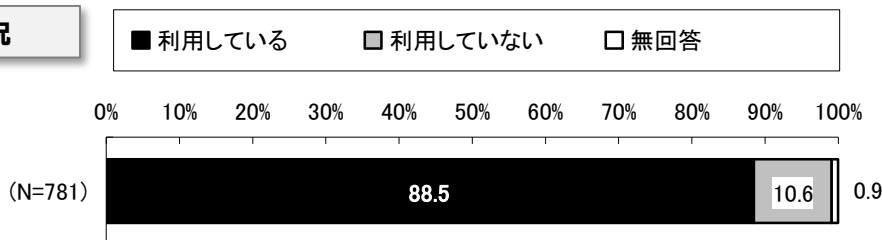
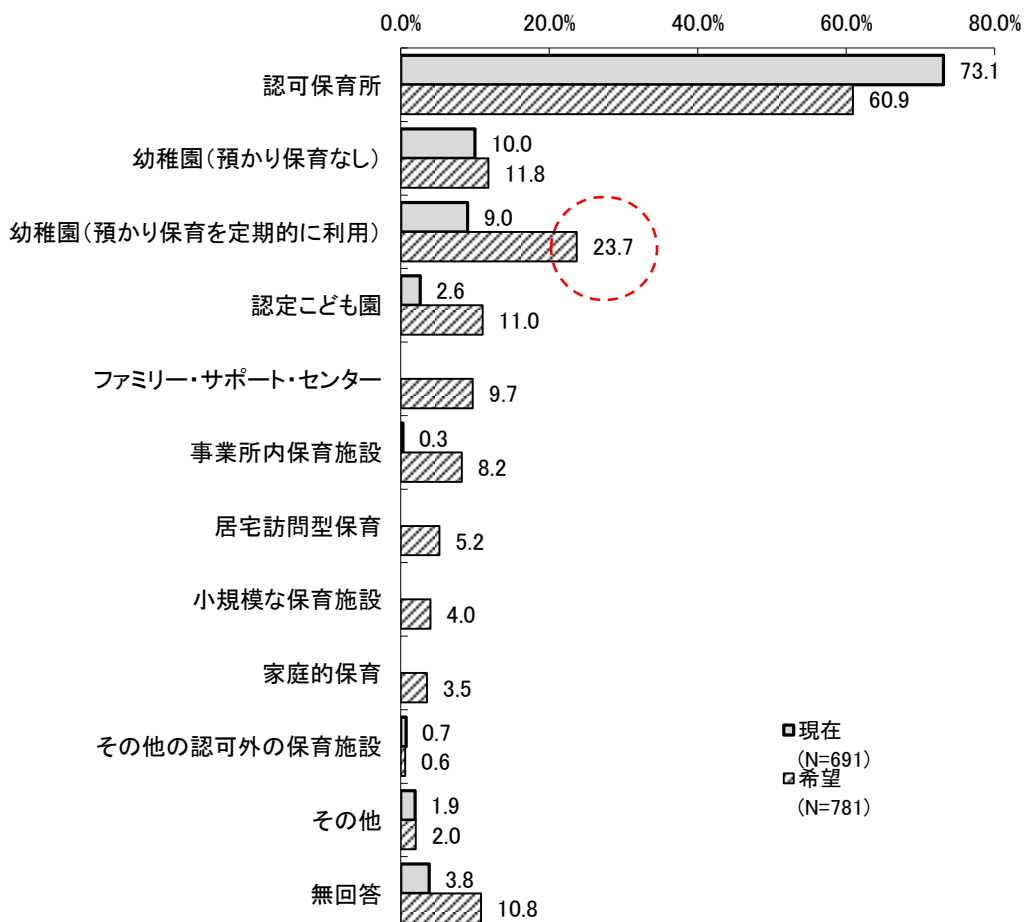


図8 利用しているサービスと今後の利用希望



5. 病気の際の対応について

- ◆病気やケガで普段利用している教育・保育事業が利用できなかったことが「あった」が7割強。
- ◆その時の対処方法として、「母親が休んだ」が最も多く、「親族・知人に子どもをみてもらった」が続いている。
- ◆母親又は父親が休んだ人の病児・病後児サービスの利用意向は、「利用したいとは思わない」が6割弱、できれば利用したいとする人が4割、なかでも「病児・病後児どちらも利用したい」とする人が3割弱となっている。

就学前

図9 病気等で教育・保育事業を休んだ経験

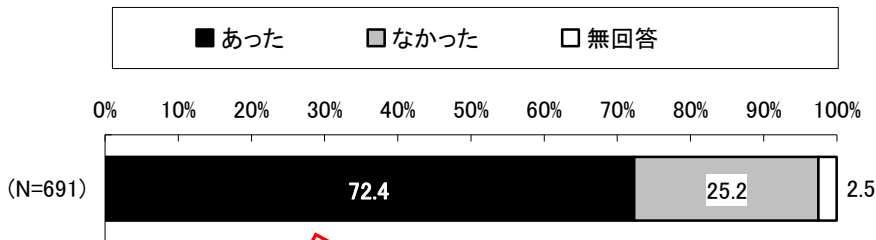


図10 対処方法

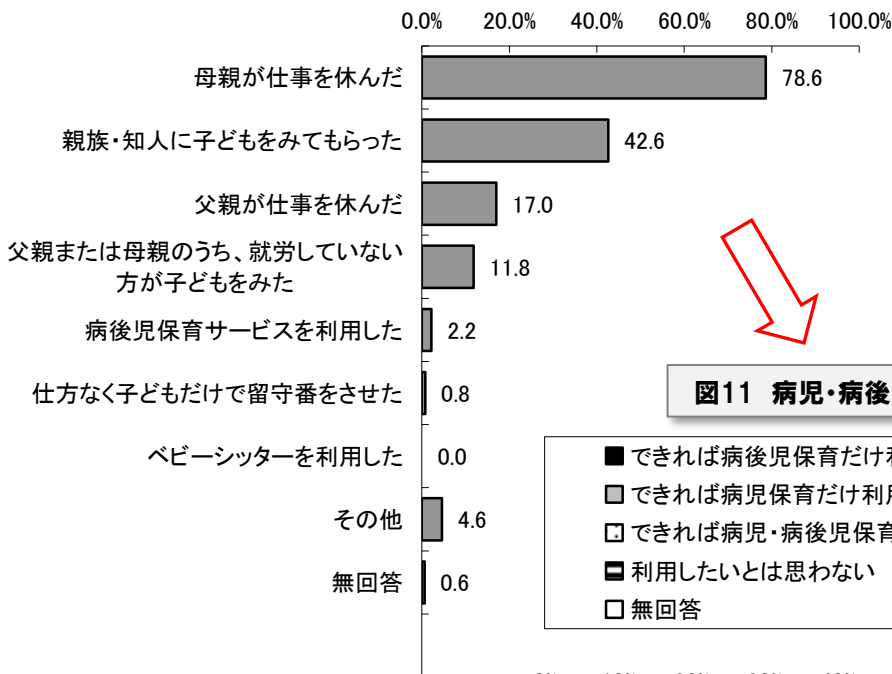
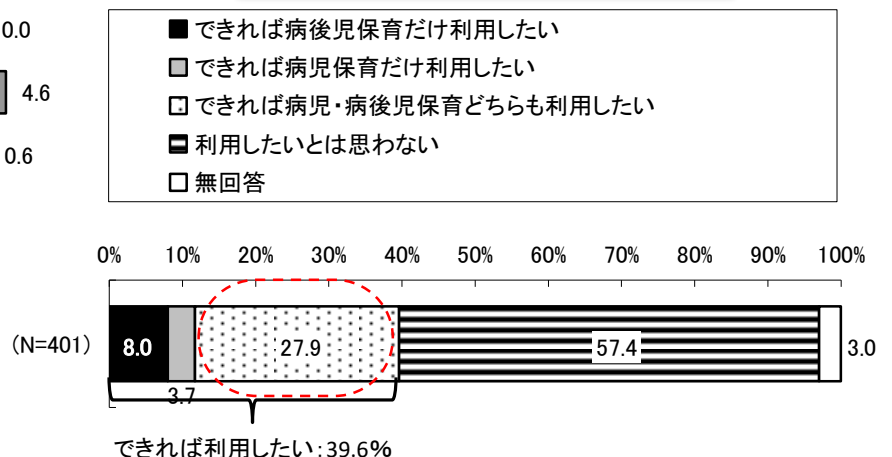


図11 病児・病後児サービスの利用意向



6. 一時預かりについて

- ◆ 不定期に利用している一時預かり等について、現在、利用していない人が大半を占めるが、今後の利用意向については、「利用したい」が4割となっている。
- ◆ 利用したい理由として、「私用やリフレッシュ目的」、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が多くなっている。

就学前

図12 不定期に利用している一時預かり等

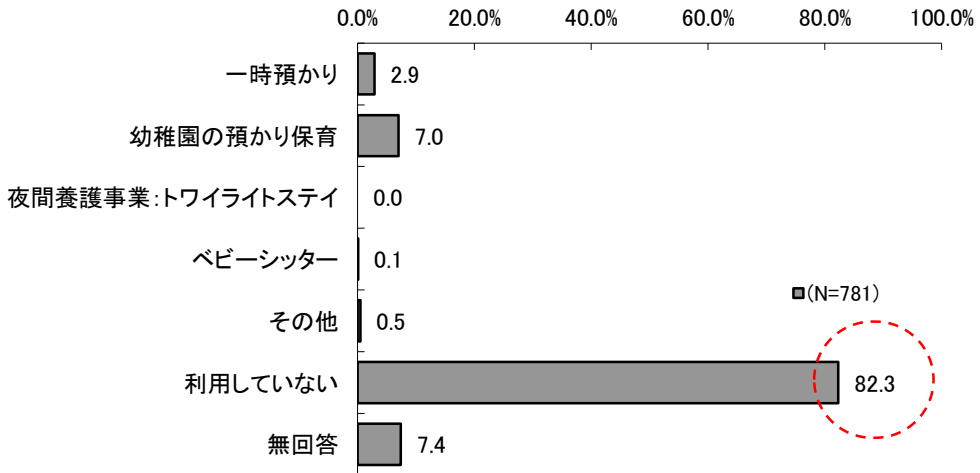


図13 一時預かり等の利用意向

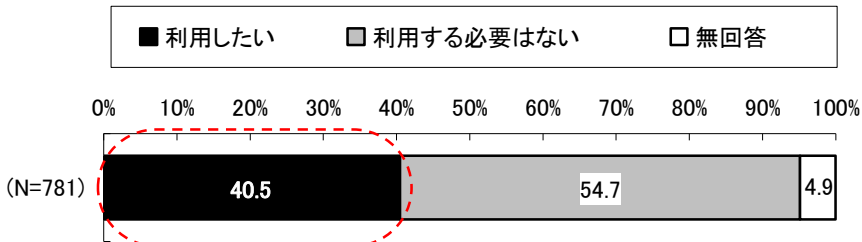
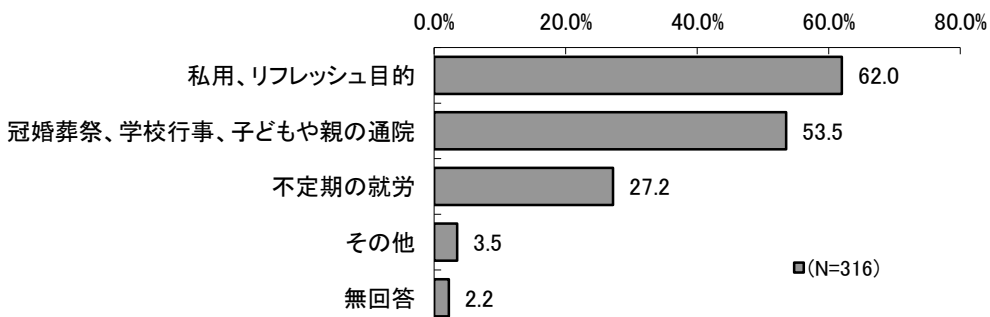


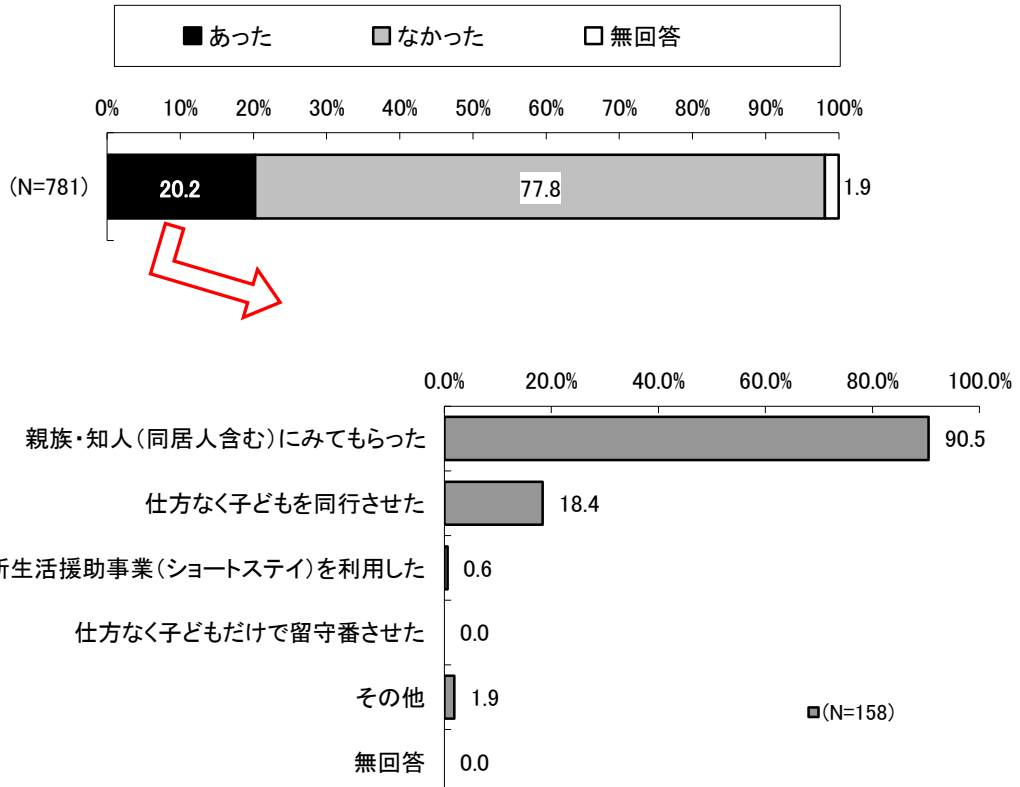
図14 利用したい理由



◆宿泊を伴う子どもの預かりについては、「なかった」とする人が多い。「あった」のは2割で、その際の対処法については、「親族・知人にみてもらった」とする人が多くなっている。

図15 泊りがけで子どもを預けた経験と預け先

就学前

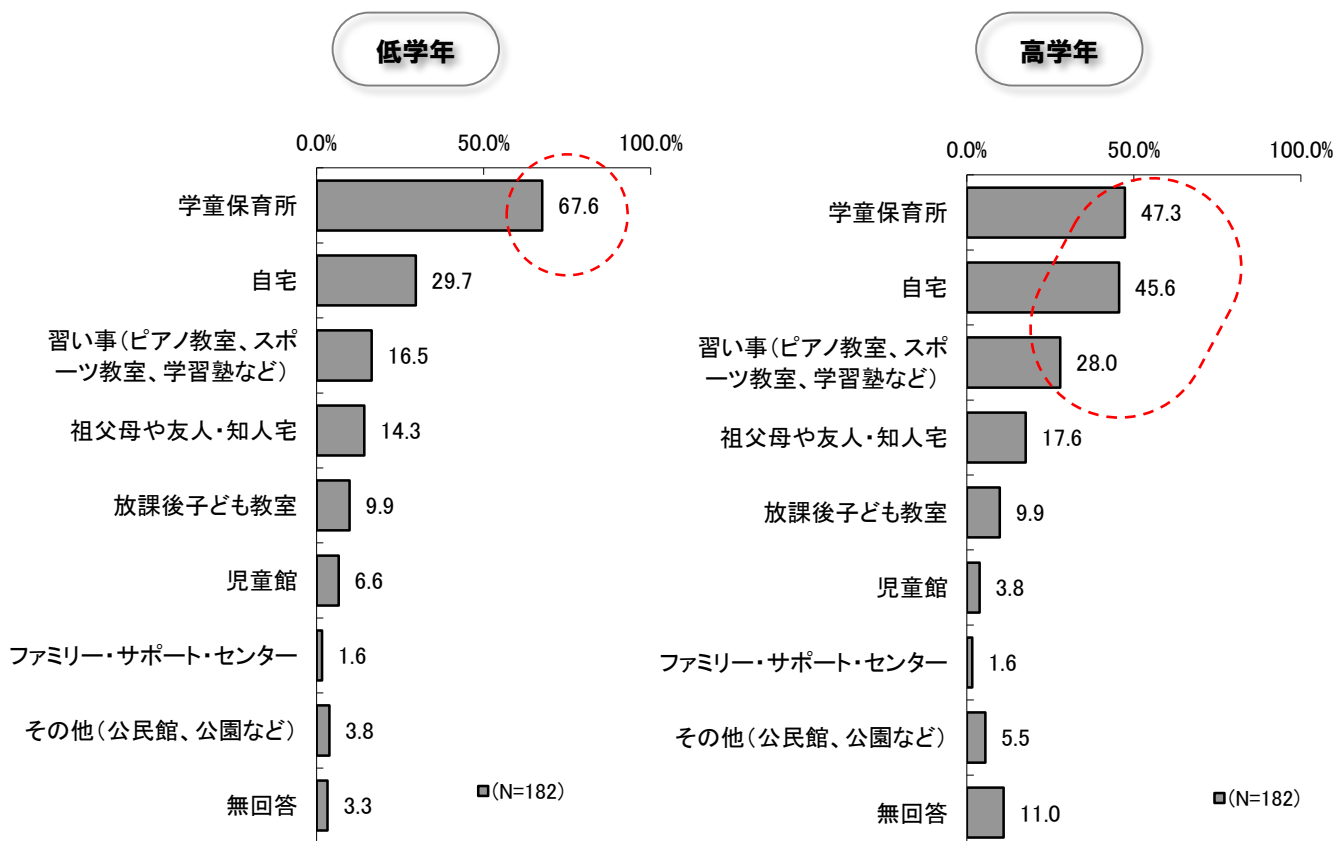


7. 放課後の過ごし方

- ◆ 5歳以上の就学前児童について、小学校にあがった際の希望する放課後の過ごし方を尋ねたところ、低学年のうちには学童保育所が最も多かったが、高学年では自宅で過ごさせたい保護者が増える。
- ◆ 高学年では、学童の割合が減少し、自宅や習い事をして過ごさせたい保護者の割合が増える。

就学前

図16 希望する放課後の過ごし方



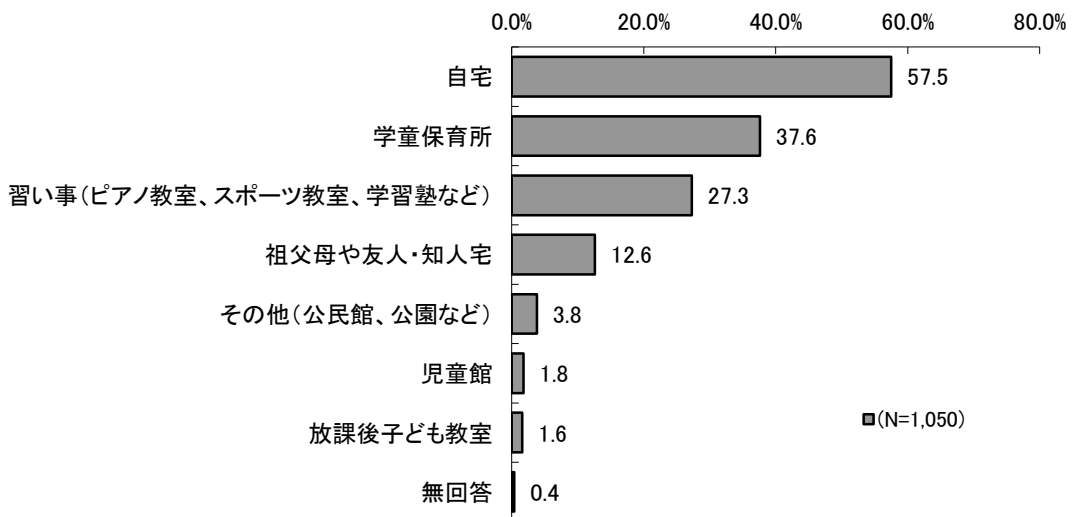
◆小学生の現在の放課後の過ごし方について、「自宅」が6割弱で最も多く、次いで「学童保育所」、「習い事」と続いている。

◆今後の過ごし方の希望については、自宅や習い事をして過ごさせたい保護者の割合が増える。

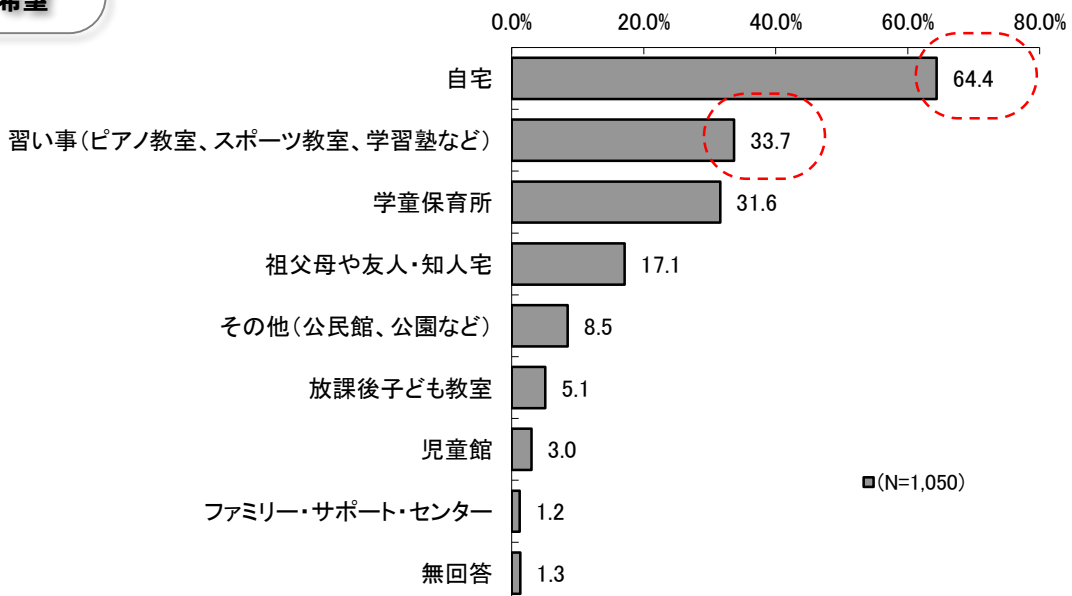
小学生

図17 放課後を過ごす場所と今後の希望

現在



希望



◆小学生の希望する放課後の過ごし方を学年別にみると、学童保育の利用希望は概ね3年生までに多く、4年生以上になると自宅で過ごさせたい保護者の割合が増える。

◆また、今後習い事をさせたい保護者の割合は、1年生で高くなっている。

小学生

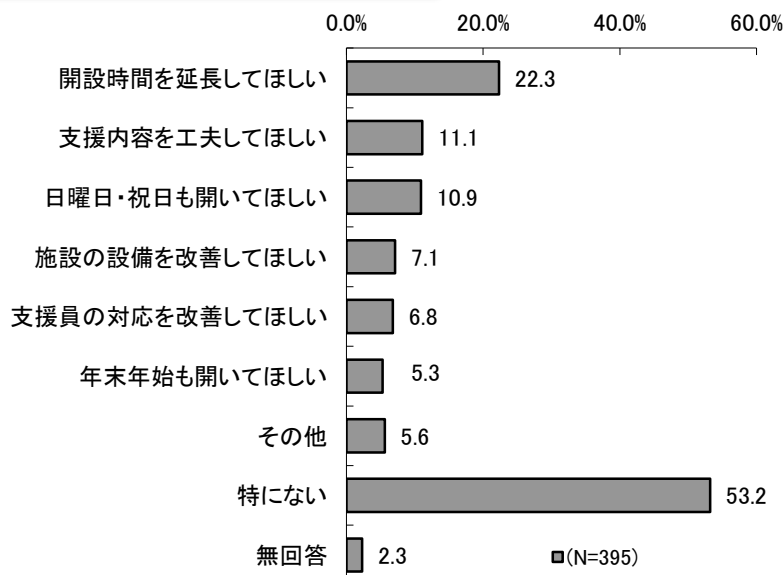
図18 希望する放課後の過ごし方

	調査数 (N)	自宅	学習塾など	習い事 (ピアノ教室、スポーツなど)	学童保育所	祖父母や友人・知人宅	その他 (公民館、公園など)	放課後子ども教室	児童館	ファミリー・サポートセンター	無回答
全体	1050	64.4	33.7	31.6	17.1	8.5	5.1	3.0	1.2	1.3	
1年生	127	49.6	43.3	58.3	18.1	5.5	9.4	2.4	1.6	-	
2年生	120	48.3	37.5	54.2	15.8	6.7	7.5	5.0	0.8	1.7	
3年生	163	50.3	30.1	47.9	17.8	10.4	4.3	1.8	2.5	1.2	
4年生	195	67.2	34.9	25.6	14.4	6.7	4.1	2.1	0.5	2.1	
5年生	217	77.9	28.1	14.7	16.6	7.8	5.1	2.8	1.8	1.4	
6年生	207	76.8	34.3	12.1	20.3	12.6	2.9	4.3	0.5	1.4	
無回答	21	66.7	23.8	38.1	14.3	4.8	4.8	-	-	-	

◆現在、学童保育所を利用している保護者に対し、学童保育所への要望を尋ねたところ、「特にない」が最も多く、要望としては、「開設時間を延長してほしい」(22%)が多くなっている。

小学生

図19 学童保育所に対する要望



8. 幼児教育・保育の無償化について

- ◆ 幼児教育・保育の無償化の認知度について、知っている・聞いたことがある人が8割となっているが、同時に、無償化の内容までは知らない人が8割と多い。
- ◆ 保育所や幼稚園の利用有無にかかわらず、教育・保育サービスの利用意向を尋ねたところ、利用したいとする人が8割強を占め、利用したいサービスは保育所が7割、幼稚園が3割弱となっている。

就学前

図20 無償化の認知度

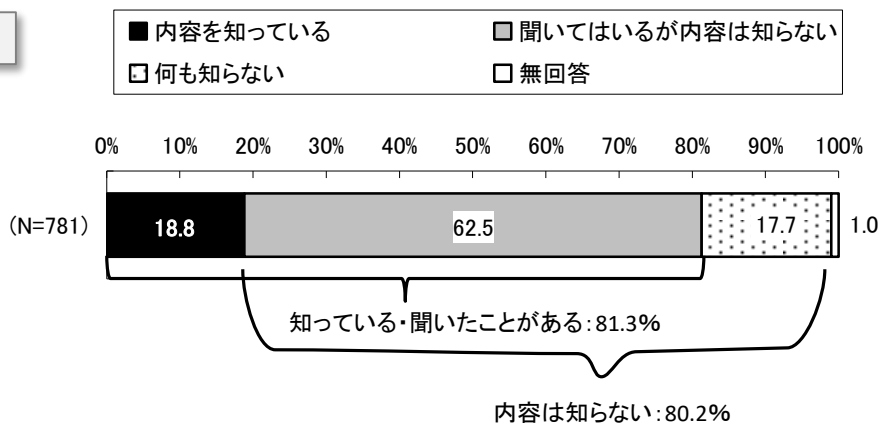


図21 サービスの利用意向

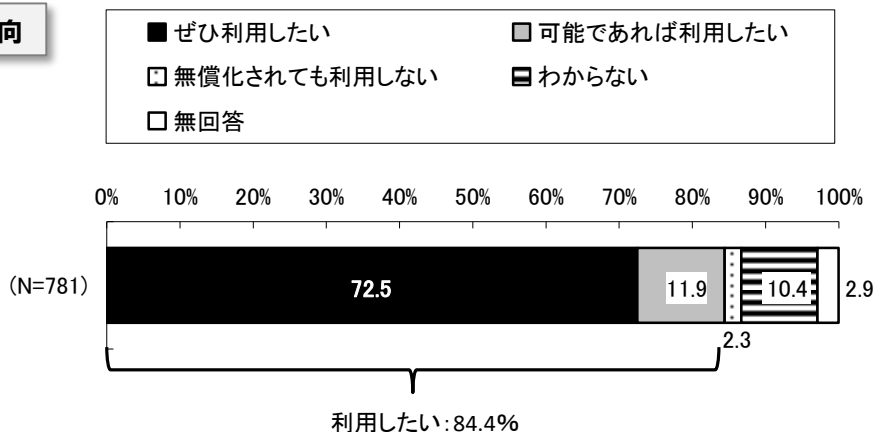
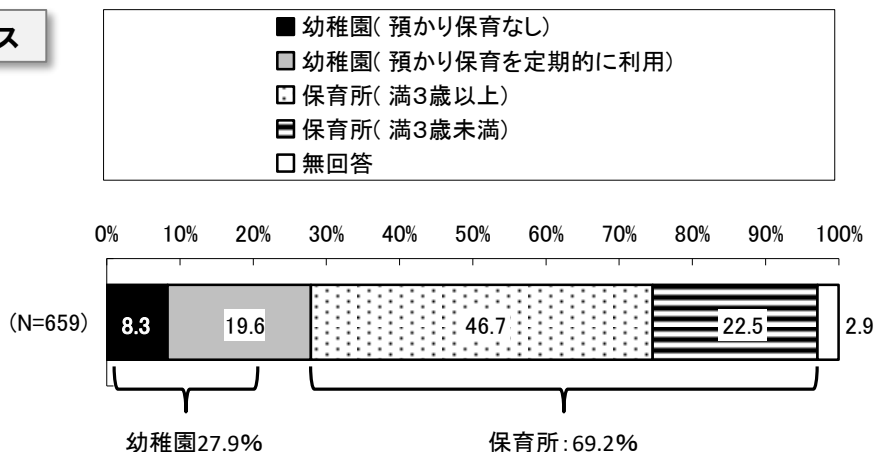


図22 利用したいサービス



9. 子育ての状況について

- ◆子育ての状況について、就学前・小学生ともに「まあ満足している」が6割と最も多く、「満足している」が2割強と、保護者の8割が現在の子育てに概ね満足と回答している。
- ◆また、子どもを育てている時の気持ちについても、「子どもがいると毎日が楽しい」、「子育てによって自分も成長している」など前向きな意見が多くなっている。
- ◆一方で、「生活や気持ちにゆとりがなくイラ立つことがある」、「子育てに不安や悩みを感じることもある」も3～4割にのぼり、一定のストレスを感じながら子育てしている保護者も多い。

図23 子育ての満足度

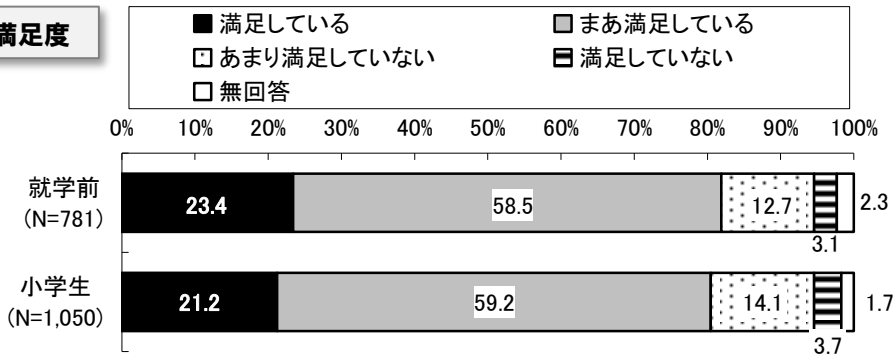
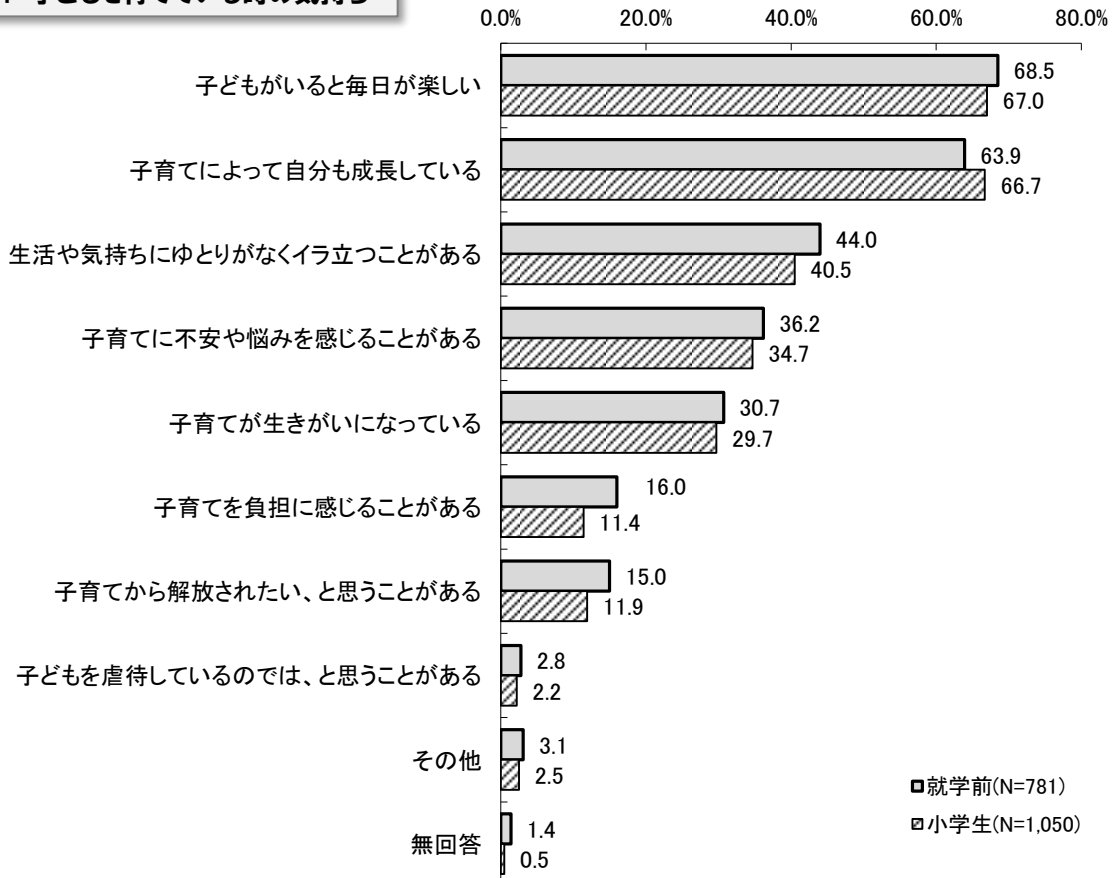
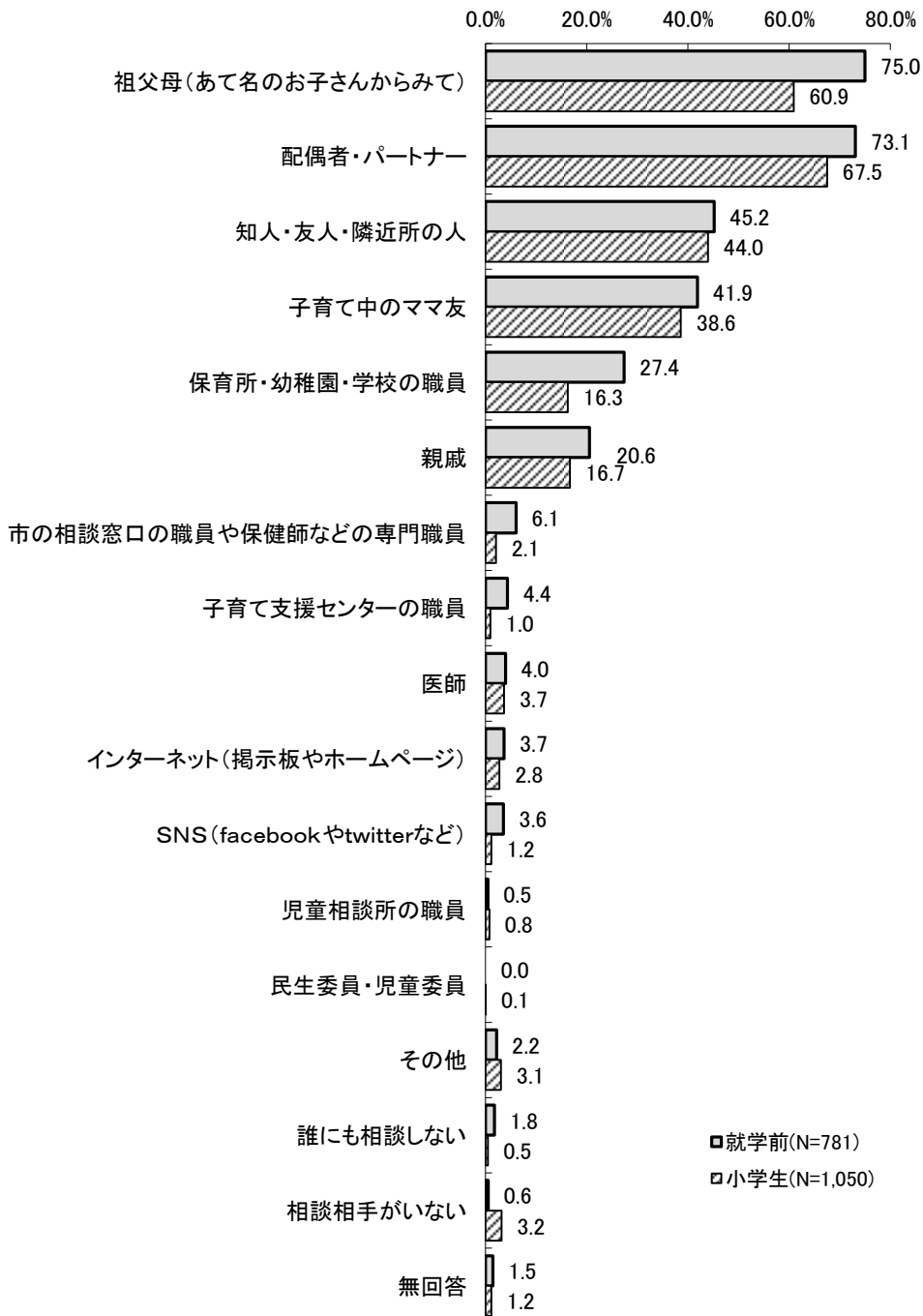


図24 子どもを育てている時の気持ち



◆子育ての悩みの相談先について、就学前・小学生ともに「祖父母」や「配偶者・パートナー」など、身近な人に相談している様子がうかがえる。

図25 子育ての悩みの相談先



- ◆嘉麻市の子育てサービスや、利用に際しての手続き等についての情報は、「広報嘉麻」から入手している人が多い。
- ◆嘉麻市から情報を十分に受け取れているかについては、「そうは思わない」や「どちらともいえない」とする人が多く、嘉麻市からの情報に関する充足度は低いと考えられる。

図26 子育て情報の入手手段

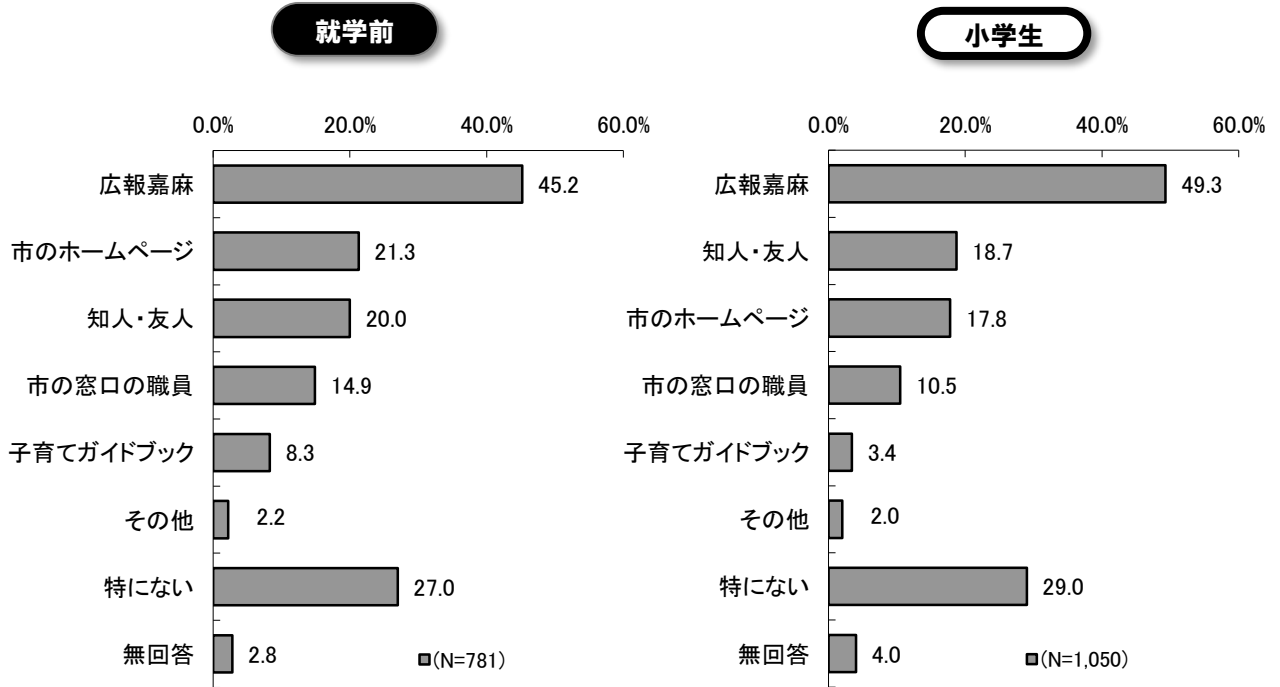
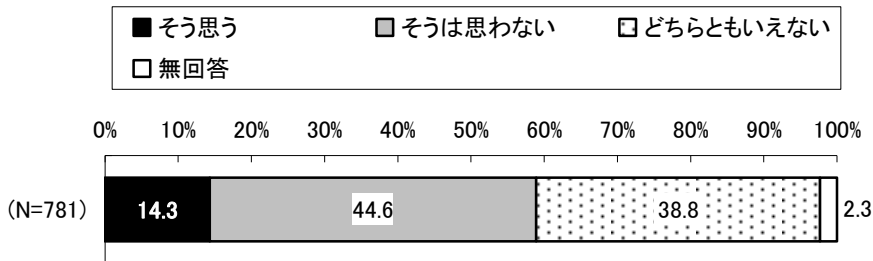
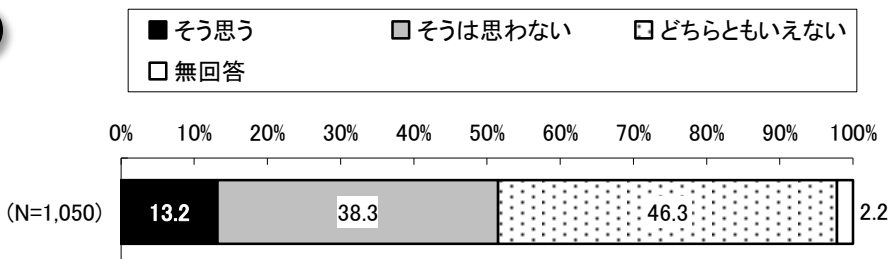


図27 情報を十分に受け取れているか

就学前



小学生



10. 暮らしの状況について

- ◆平日の朝食を摂る頻度については、「いつも食べる（週に5日）」が大半だが、欠食する子どもも1割強にのぼる。
 - ◆朝食・夕食を誰と食べているかについて、朝食・夕食ともに親や兄弟姉妹の家族と食べている子どもが多い。一方、「一人で食べる」の割合も朝食時に1割となっている。
- ※「孤食」の機会の多い子どもほど偏食になりやすく、食欲も落ちるため、「体調不良になりやすい」「元気がでない」「精神的な満足感が得られず、情緒不安定になりやすい」といった傾向にあると言われている。

小学生

図28 朝食の頻度

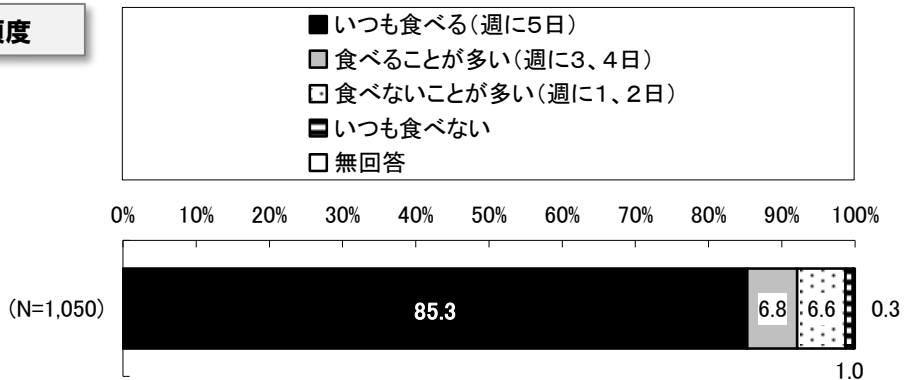
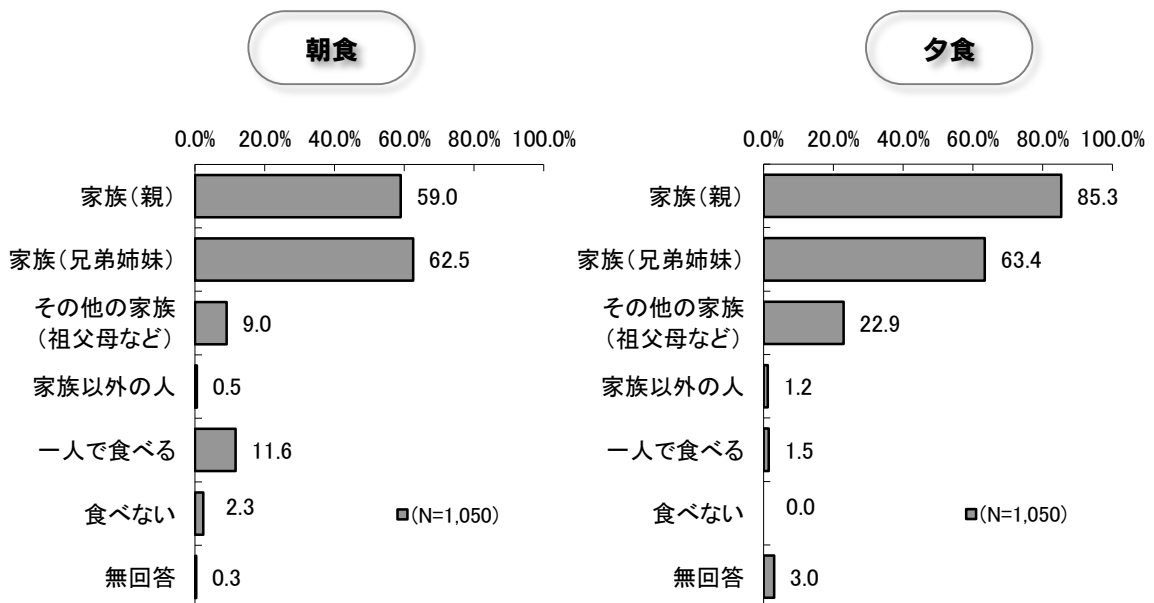


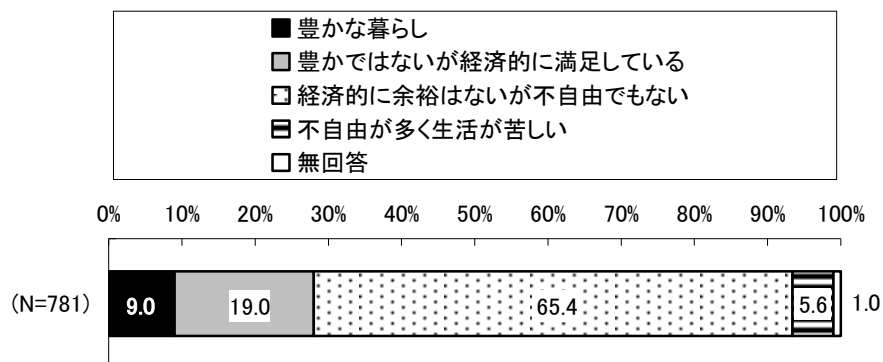
図29 朝食・夕食を食べる人



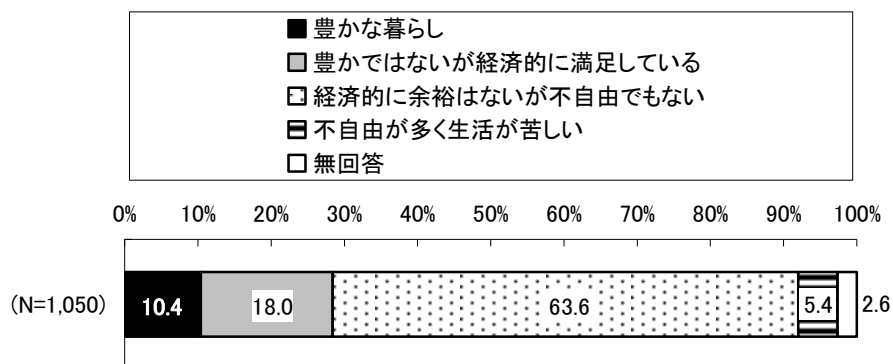
◆家庭の暮らしの状況について、就学前・小学生ともに「経済的に余裕はないが、不自由でもない」とする人が最も多い。「豊かに暮らせている」、又は、「豊かではないが、経済的に満足」、経済面だけでいうとあまり余裕がない世帯が7割にのぼる。

図30 暮らしの状況

就学前



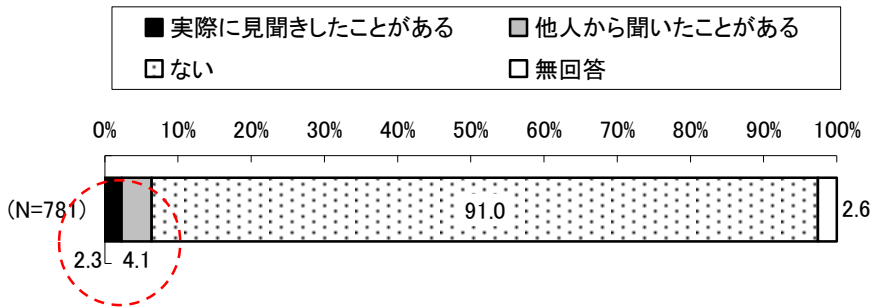
小学生



- ◆地域で子どもへの虐待を見聞きした経験について、就学前児童で6%、小学生児童で7%が該当する。
- ◆見聞きした経験のある人に、どのような対応をとったか尋ねたところ、「自分の家族や親族に相談した」が最も多く、「特に何もなかった」がこれに続いている。

図31 虐待を見聞きした経験

就学前



小学生

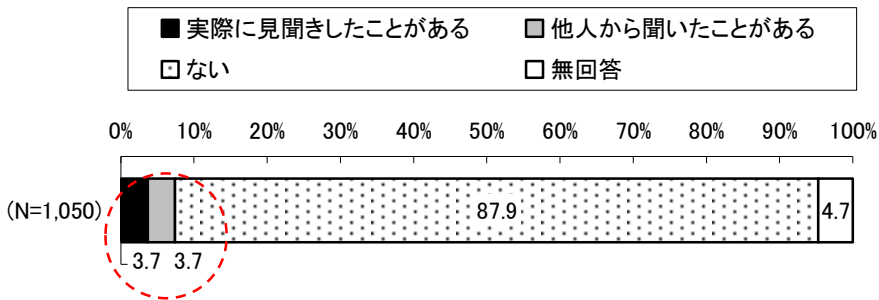
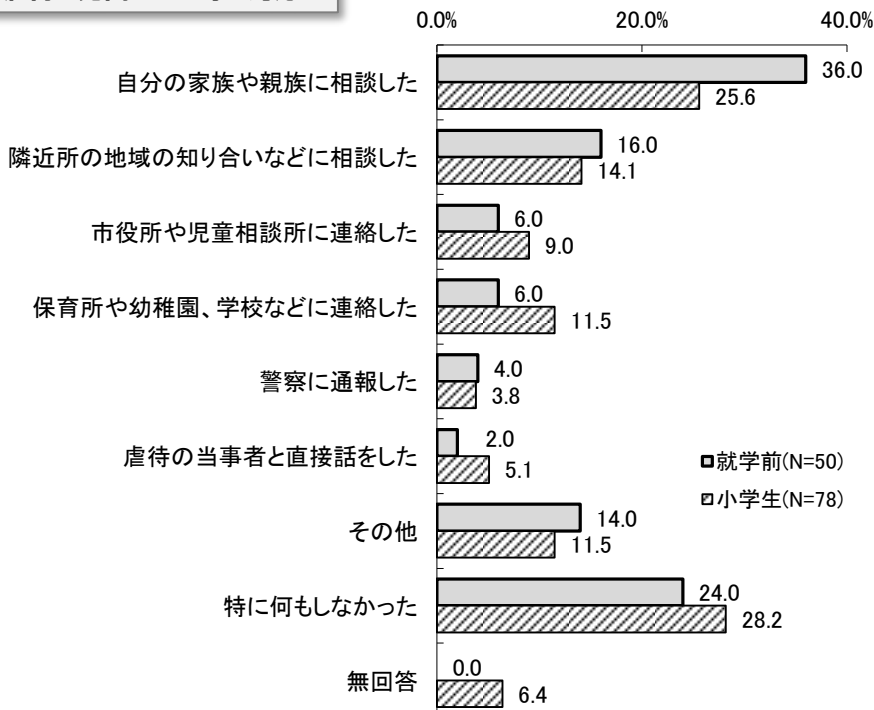


図32 虐待を見聞きした時の対応

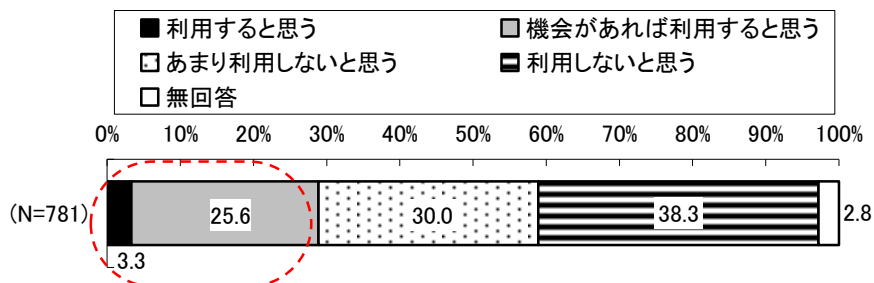


11. ファミリー・サポート・センターについて

- ◆ファミリー・サポート・センターの利用意向を尋ねたところ、就学前・小学生ともに3割弱程度の希望となっている（「利用すると思う」+「機会があれば利用すると思う」）。
- ◆1時間あたりの利用希望料金については、「500未満」と「500～800円未満」を希望する人が多く、平均金額も500円程度となっている。

図33 利用意向

就学前



小学生

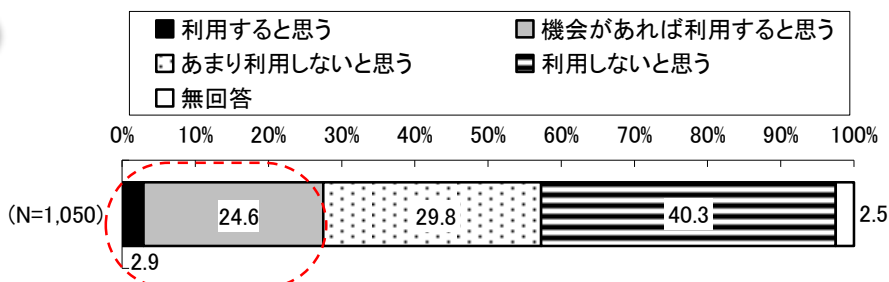
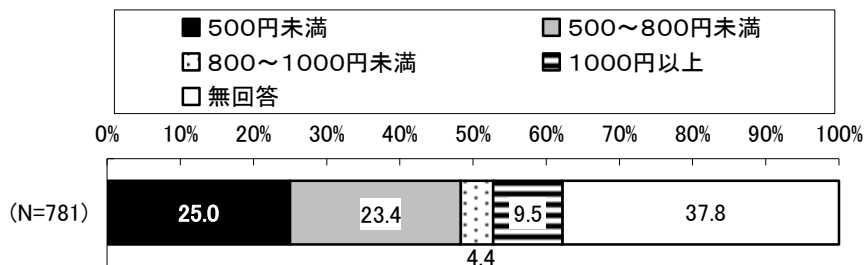


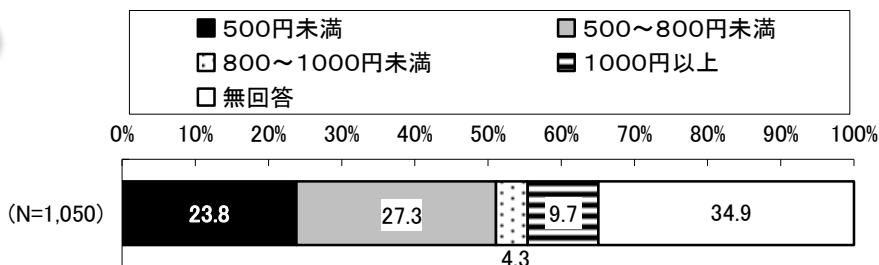
図34 1時間あたりの利用希望料金

就学前



平均：
509円

小学生



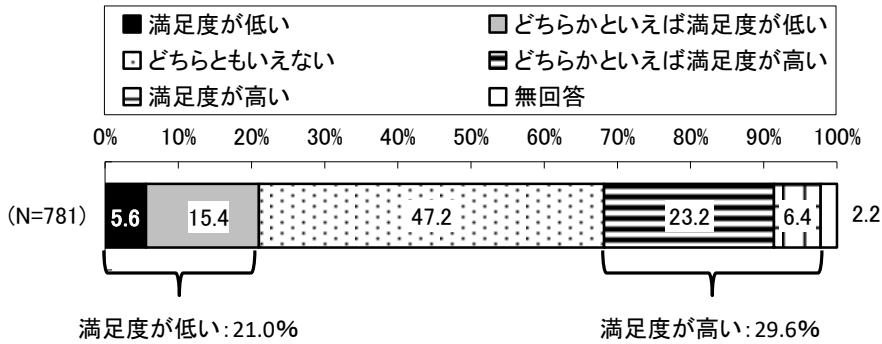
平均：
499円

11. 子育て環境・支援施策全般について

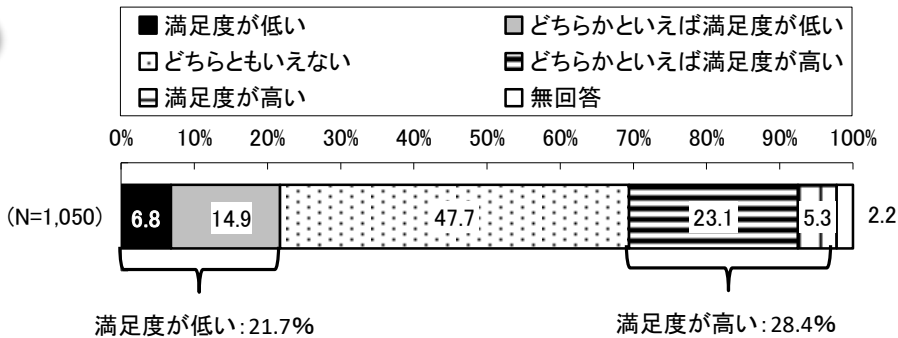
◆嘉麻市の子育て環境や支援の満足度について、就学前・小学生ともに「どちらともいえない」とする保護者が半数を占めるが、満足度が高いのは約3割、満足度が低いのは約2割となっている。

図35 子育て環境や支援の満足度

就学前



小学生



- ◆安心して子育てができ、子どもがのびのびと育つために、嘉麻市に充実してほしいと思う取り組みについて、就学前・小学生ともに同様の傾向を示しており、「小児医療や救急医療体制」と「子どもの居場所や安全に遊べる場づくり」の二項目へのニーズが特に高い。
- ◆また、これらに続き、就学前では「仕事をしながら安心して子育てしていくための保育サービス」、小学生では「子どもが犯罪に巻き込まれないための対策」が高くなっている。

図36 嘉麻市が充実すべき取り組み

